



■ 心臓疾患治療の拠点として救急医療を推進

2008年4月に、当院が立地する杉並・練馬エリアの循環器系疾患への対策を目的として心臓血管外科と循環器内科で組織する「心臓血管センター」を設立致しました。心臓血管センターでは24時間、365日の救急受け入れと緊急のカテーテル検査・治療と緊急開胸手術が可能です。CCUネットワーク救急搬送件数は当院が加盟する東京都CCUネットワークを通じて受け入れた救急車の台数を示しており3か年とも200件以上の受け入れを行っております。

急性大動脈スーパーネットワーク救急搬送件数は緊急大動脈疾患を対象とした指標です。



ハイブリッドカテーテル室 (別館 2F)

2013年にオープンした別館には救急外来とCT室を1Fに配置しており救急車が来院してすぐに画像診断と一次処置を行う事ができます。急患が心疾患の場合、別館2Fの血管撮影室へすぐに搬送する事ができ緊急のカテーテル治療やバイパス手術に対応します。また、別館2Fは本館にも連絡しており外科的処置が必要な場合は、迅速に手術室への移送も可能です。このように建物構造の特徴を活かした導線により短時間での緊急処置を行う事が出来ます。



院内 BLS 研修の様子

日本循環器学会が発行するBLSプロバイダー資格を所持する職員で組織した「BLS チーム」が全職員を対象に心肺蘇生と一次救命処置に関する研修を年12回開催しています。

また、当院は医療従事者の救命技術向上に寄与するため、日本循環器学会のBLSプロバイダーコースの受講会場として使用されております。